

## 胆道癌

## ペムブロリズマブ+CDDP+GEM療法レジメン

キイトルーダ+シスプラチン+ゲムシタビン

A-15 &lt;21日間隔 (3剤併用 (A-15)は最大8コース、以降は2剤 (A-16)で最大35コースまで)&gt;

治療日		第1日目	第2-7日目	第8日目	第9-21日目	第22日目
治療内容						
検査	採血	○		○		○
	胸部X線	○		○		○
診療	副作用の問診	○		○		○
	検査結果	○		○		○
治療中止基準	CDDP+GEM ①白血球 3000未満 ②好中球 1500未満 ③血小板 10万未満 ④ヘモグロビン 10g未満 ⑤発熱・CRP上昇 ⑥PS 2以上	ペムブロリズマブ ①G2以上の肺臓炎 ②副腎クリーゼの疑い ③G3以上の皮膚障害・神経障害 ④AST、ALT>3×ULN ⑤T-Bil>1.5×ULN ⑥Cr>1.5×ベースライン ⑦G2以上の下痢 ⑧自己免疫疾患の発症疑い				-
点滴	①生食50ml 点滴静注【全開】	↓				↓
	②生理食塩50ml +キイトルーダ 200mg 点滴静注【30分】 フィルター付きルートで	↓				↓
	③生食50ml 点滴静注【全開】	↓				↓
	④生食50ml +パロノセトロン 0.75mg 1V +デキサート3.3mg 2A 点滴静注【全開】	↓		↓		↓
	⑤生食500ml +硫酸マグネシウム 8mL 点滴静注【60分】	↓		↓		↓
	⑥シスプラチン25mg/m <sup>2</sup> +生食500ml 点滴静注【60分】	↓		↓		↓
	⑦生食500ml 点滴静注【60分】	↓		↓		↓
	⑧ゲムシタビン1000mg/m <sup>2</sup> +生食100ml 点滴静注【30分】	↓		↓		↓
	⑨生食 50mL ルートフラッシュ用	↓		↓		↓
減量基準						

看護のPoint!!

ゲムシタビンは投与中に血管痛を訴えることがある。患部を温めてあげるといいかも。

それでもダメなときは、次回から溶解液を生食から5%ブドウ糖液に変更してもらう。

主な副作用は骨髄抑制と間質性肺炎。

間質性肺炎は怖い副作用。

投与後にかゆみを訴えたらゲムシタビンによるアレルギーかも。

ゲムシタビンは30分以内で投与してね。もし1時間以上かかけたら副作用増強!!

キイトルーダは免疫調節薬であるので、免疫関連の副作用が起こる

Infusion reactionに注意

主な副作用は皮膚障害、甲状腺機能低下、下痢、間質性肺炎

下痢の時はステロイドを使用 (止痢剤ではない。大腸炎のため)